

## 「超高齢者における急性胆道感染症（急性胆管炎・胆嚢炎）の治療成績」へ ご協力をお願い

### 1. 研究の対象

2010年4月1日～2019年3月31日に当院で急性胆管炎・急性胆嚢炎（以下：急性胆道感染症）に対し入院での治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

#### 【研究目的】

超高齢者の急性胆道感染症における治療成績を明らかにすることを目的とします。

超高齢者とは90歳以上を定義することが日本老年医学会より示唆されています。

本研究においても、90歳以上を超高齢者として、90歳未満の非超高齢者の違いがあるかどうかを明らかにし、違いがあれば、その違いが何か、その原因が何かを明らかにすることを目的としています。両者の違いを明らかにすることで、今後の超高齢者における急性胆道感染症の診療の質を高めることができる可能性があります。

#### 【研究方法】

対象患者さんの過去の診療情報を用いて、情報を収集し、治療成績・入院後経過・偶発症の発現頻度や重症度などを解析します。

収集したデータは個人情報情報を削除し、個人を特定できなくした後に、統計による解析を行います。

本研究の結果は、個人が特定されない形で国内外の医学関連学会での公表や医学雑誌への論文投稿を予定します。

#### 【研究機関】

東京歯科大学市川総合病院 消化器内科

本研究は、当該化である消化器内科の研究費以外に製薬会社などの企業から資金提供の授受はなく、患者さんの利益と研究グループや企業などと利益が相反する可能性は基本的にございません（いわゆる利益相反はありません）。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍、体温、病歴、既往歴、生活歴、お受けになった治療、偶発症等の発生状況、採血検査の結果

画像検査：腹部画像検査（レントゲン、超音波検査、CT、MRI）、内視鏡検査

【個人情報の取り扱いについて】

個人を特定できる情報は記載せずデータも匿名化して取り扱います。

本研究で得られたデータおよび試験の実施に関わる文書は5年間保存した後に、一切のデータを復元不可能な状態で消去し、またはシュレッダーなどで細かく裁断し機密データとして破棄します。

#### 4. お問い合わせ先

本研究は当院の倫理審査委員会の審査で承認を得て、病院長の許可を受け行われています。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

研究責任者 消化器内科 中村健二

電話：047-322-0151